

第2回福知山 Sustainable Neighbors Action

第3回福知山エリアプラットフォーム会議 議事概要

日時 : 令和6年3月25日(月) 午後3時30分から午後5時00分

場所 : 福知山市厚生会館中会場(2階)

○ 出席者 :

福知山観光協会、福知山青年会議所、福知山地域振興社、福知山フロント、福知山まちづくり、福知山公立大学山本教授

○ 欠席者 :

福知山ワンダーマーケット、新町商店街、広小路商店街、福知山駅前通り商店街、福知山公立大学山本ゼミ、福知山自治会長運営委員連絡協議会、京都工芸繊維大学阪田教授、京都工芸繊維大学阪田ゼミ

1. あいさつ : 福知山市(芦田担当課長)より挨拶

2. 福知山まちなか未来ビジョン(令和5年度の取組)

- 福知山市より、「福知山まちなか未来ビジョン(案)」について内容説明。資料はA4パンフレット「福知山まちなか未来ビジョン」、A3リーフレット「福知山まちなか未来ビジョンMAP(概要版)」。
- 活動の報告やPRのために上記資料を使用することを提案。

3. 令和6年度以降の取組について

- 福知山市より、「令和6年度以降の取組」について説明。

4. 意見交換

青年会議所	<ul style="list-style-type: none">● 令和6年度以降の資金管理について、補助金以外に収入として見込むものはあるか。
福知山市	<ul style="list-style-type: none">● 現時点において想定しているものはない。
青年会議所	<ul style="list-style-type: none">● 令和6年度の補助金を利用して、MAPの30のコトを展開していくということか。● 口座を作る場合はプロジェクトごとに作るのか。
福知山市	<ul style="list-style-type: none">● 令和6年度の補助金は、未来ビジョンをまちづくりのプランとして練り上げるということを目的とするものであり、30のコトを実施するための補助金ではない。● 現状ではどのようにプロジェクトを行うかを整理できていないため、資金管理についても整理できていない。

青年会議所	<ul style="list-style-type: none"> ● 口座に関する話が合ったため、プロジェクトごとに口座が管理できれば、収支の管理もしやすいものとする。 ● 30 のコトの中には早期の事業化を見込めるものもあるため、事業費の管理についても今後議論ができればよいものと思われる。
-------	--

観光協会	<ul style="list-style-type: none"> ● 現時点において、国庫補助に“採択”されたということで良いか。 ● 補助金は、どのようなタイミングで支払われるか。
福知山市	<ul style="list-style-type: none"> ● 国のヒアリングを受けたが、その時の感触では、おそらく採択されるという認識である。しかし、R5 が 1000 万円要望に対して 400 万円採択であり、R6 はさらに厳しいという話を聞いている。 ● R5 は事業完了後に精算払を請求して全額支払を受ける予定である。事業の制度としては精算払と概算払があり、概算払を請求すると先んじて何割かの補助を受けることが可能になる。

観光協会	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後の事業においては、現在のビジョンに示される“30 のコト”を変更することは可能なのか。
福知山市	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在示している“30 のコト”は、あくまで令和 5 年度 of 取組結果であり、未来ビジョンのベースとして整理したものであるため、変更することは可能である。
福知山まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 例えば、今後戦略を考えていくにあたり、大きく方向性を変更することがあっても支障はないのか。例えば、インバウンドに関する記載がないがインバウンドに振り切る等。
福知山市	<ul style="list-style-type: none"> ● 変更することを禁止するものはない。ただし、エリアプラットフォームでの合意が得られるかどうか。
山本教授	<ul style="list-style-type: none"> ● 皆で意見を出し合って整理したものであり、完全にひっくり返すということではなく、ある程度ベースにすることが重要である。 ● 現在の“30 のコト”は抽象的な表現になっていて、事業化するには幅広に考えることができる。これらを基準として、それぞれの施策を展開していくこととすればよいと思える。

青年会議所	<ul style="list-style-type: none"> ● それぞれの活動もあるが、この場合は皆でプロジェクトを実行しようという集まりか。それ以外にはどのような意義や目的があるか。
福知山市	<ul style="list-style-type: none"> ● 実際にまちづくりの活動に関わる方々の集まりであり、情報交換や公の場で意見・考えを言える場である。 ● 例えば、それぞれの取組を一緒に行う等の連携を図ることが可能となると考える。

福知山フロント	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在の“30のコト”をいくつかに分類して、それぞれの事業に共有できる目標を掲げるといったことや、イベントの同時開催の検討といったことで、プラットフォームとして機能できれば良いのではないかな。
---------	---

福知山まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和6年度においては、福知山まちづくりが会議の司会をすることはよいが、できるかぎり行政にも協力してもらいたい。
福知山市	<ul style="list-style-type: none"> ● 共同で事務局を務める者として、具体的なことは協議していきたい。

福知山市	<ul style="list-style-type: none"> ● 未来ビジョン概要版(案)や未来ビジョン(案)をこれまでの取組の成果として、PR等に使用してもよいかな？
福知山まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 提案された「福知山まちなか未来ビジョン」をPR等の資料に使用することは認めない。 ● 30のコトを見直してほしい。30にまとめるのではなく、元のまま、多いまま挙げてほしい。 ● 写真はもっとよいものがあるはずで、見せ方についても単純に並べただけという印象を受ける。 ● 全体的にデザイン性を検討し、綺麗に作成されたい。
福知山フロント	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅正面通りの“広々とした”の表現を見直していただきたい。 ● 未来ビジョンエリアの地図において、エリア図に示した色分けについては、検討いただきたい。 ● また、今後「Sustainable Neighbors Action」のロゴも考えていきたいので、イメージが付きそうなフォントではなく、無難なフォントに変更していただきたい。
福知山市	<ul style="list-style-type: none"> ● これまでの取組や会議資料等をHPで公開しており、例えば会議資料として公開することはどうか？ ● 今回の修正等、実際の作業は誰がするのかという問題がある。時間のかからないものはよいが、補助金で取り組んでいるため、次年度に及ぶような作業は対応が難しい。令和6年度の補助金で対応していただけないかな？
福知山まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 福知山市が業務委託して作成したものであり、その委託業務や市職員の作業で修正してほしい。
福知山フロント	<ul style="list-style-type: none"> ● 写真やフォントの修正などは時間を要する難しい作業ではなく、福知山市が対応できるのではないかな？ ● 会議資料としては理解するが、今回の案は、皆で作成した未来ビジョンではなく、あくまで委託業務の成果として位置づけられたい。

福知山市	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和5年度は福知山市の申請により交付される補助金を活用しているため、資料の作成や会議の運営等を市が前面に出て行っているが、官民連携を掲げているので、今後は、市が提案したものを検討していただくという現在の体制ではなく、市も皆さんと対等の立場で臨むことが重要であり、作業が必要になった場合に誰が作業するかは協議していく必要があると考えている。 ● 修正のイメージを共有できていないので全体のデザインに関することは対応しかねるが、写真やフォントの変更はさせていただく。 ● 今回の資料は、福知山まちなか未来ビジョンではなく、あくまで委託業務の成果品と位置付け、HPには「未来ビジョンではない」ものとして掲載する。
福知山まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 来年度については、あくまで共有できるビジョンを作ることができればよいと考える。 ● ビジョンを作っていく過程では、いくつかの柱に集中して、具体的に進めていきたい。
山本教授	<ul style="list-style-type: none"> ● 資金の話も出ているが、資金を投入するということと、まちなかのデザインを共有するということは分けて考えるべきではないか。まずは、まちなかのデザインということについて話したうえで、どこに資金投入していくのかということを経験できれば良いと考える。
福知山市	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政としては、どのように進めていくのかということをお考えしているところであり、今年度はまずプラットフォームを立ち上げたいということが目的であった。次年度以降については、議論できる場において引き続き検討していきたい。
観光協会	<ul style="list-style-type: none"> ● あくまでビジョンの柱となるようなものをいくつか検討していくことが活動の中心となると思われるので、プレイヤーとなる参加者が多数参加できるプラットフォームであれば良いのではないかと考える。
福知山フロント	<ul style="list-style-type: none"> ● 様々なプレイヤーが集まる場ができたことはよい。今後は、さらに様々な主体（鉄道会社、市役所の横断的な部署）の参加を期待したい。
観光協会	<ul style="list-style-type: none"> ● このような協議は継続的に実施することが重要であり、例えば第○ ■曜日（毎月）に開催すると決めておけばと予定を調整しやすい。
福知山市	<ul style="list-style-type: none"> ● この場には「福知山市」として参加しており、様々な部署が参画できるように庁内で連携して、臨機応変に対応したいと考える。

5. あいさつ（閉会）：福知山市（芦田担当課長）より挨拶

以上